

第5回「eビジネス異業種交流会」 講演会・意見交換会

日時：2016年12月13日（火） 17時00分開始
場所：一般財団法人 マルチメディア振興センター

<http://www.fmmc.or.jp/about/map.html>

講演会 2階 大会議室 17時00分～19時00分
意見交換会 2階 中会議室 19時10分～20時10分

<講演1> 17:00-

『オープン・イノベーション実現のためのコーポレート・ベンチャリング（仮）』

株式会社NTTドコモ スマートライフビジネス本部 スマートライフ推進部

グローバルビジネス推進室長 秋元 信行 様

昨今オープンイノベーションの重要性が増すのと歩調を合わせるように、大手事業会社による Corporate Venturing 活動が活発になってきております。

今回の講演では事業会社による Corporate Venturing 活動の日米比較、当該活動にユニークなオープンイノベーションのジレンマ(特に日本)とその背景や具体的事例の紹介等を通じて、今後の日本企業におけるオープンイノベーション実現の手段としての Corporate Venturing のあり方についてご紹介いただきます。

<講演2> 18:00-

『紙の上の想い』

画家/イラストレーター 西垣 至剛 様

(西垣様からのメッセージ)

自らの思考や感覚を鑑賞者に伝達するのが芸術の仕事であり、芸術家を自称する以上、その手段は常に模索し続ける必要があると、私は考えます。

昨今、デジタル技術の発達により表現の手段は多様化の一途を辿っています。PCソフトで作成した描画をオンラインで公開するなど、鑑賞者が慣れ親しむ表現手段を知り、自らの創作のヒントとする努力は必要なのかもしれません。

一方で、現物を鑑賞するという価値観は薄れつつあるように感じます。言葉ではなく、紙の上の表現によって想いを伝えようとする絵描きにとって、ディスプレイを介さない直接的な鑑賞体験もまた、決して軽んじてはならないことだと思います。

多様化する表現手段の中から何を採用し、いかなる形態で鑑賞者に訴えるか。
芸術家がそこに前向きな姿勢を見せれば、芸術の可能性はもっと広がるはずです。

今回は、今後の芸術のあり方について、手描きの創作にこだわる私なりの意見を紹介させていただこうと思います。



eビジネス
異業種交流会

2. 会費

異業種交流会会員 : 無料(規定のご人数まで)

FMMC賛助会員 : 4,000円

会員以外 : 9,000円

※講演会終了後、立食方式による軽食、飲み物をご用意いたします。

3. 申込先

メール eba@fmmc.or.jp

でんわ 03-5403-1082

一般財団法人マルチメディア振興センター 総合企画本部